

新潟市，再発見 — 魅力度アッププロジェクト —

教科等横断的単元

4年虹の輪・社会科 6月～7月・9月 75Q (25時間)
附属新潟小学校 教諭 梅津 祐介

1 本単元で目指す姿

野内さんの生き方の価値を見だし，世の中に融合する取組を考える子ども

具体的には，野内さんの思いに着目し，自分の思いと比較・関連付けて考える「見方・考え方」を働かせ，学習対象である野内隆裕さんの生き方に共感し，その思いを共有することで，まちの魅力を伝えるという動機を更新しながら，まちの魅力の伝え方を考える姿。

2 本単元で育成する資質・能力（評価基準）

	①知識・技能	②思考力・判断力・表現力	③態度
総合	○ 自己の考えを深めて表現するために必要な知識と技能	○ 自分がしたいことを基に社会との関係を考え，整理・分析したり，設計したりする力	○ 自らの役割を果たしつつ，多様な人々の思いを共有しながら，よりよい人生や社会を構築しようとする態度
社会科	○ 社会生活に関する知識・身近な地域や市の様子は場所によって違うこと	○ 考えたことや選択・判断したことを表現する力	○ 地域社会の一員としての自覚をもち，よりよいまちづくりに協力しようとする態度

3 関連する学習

[第3学年] 社会科
— わたしたちの大好きなまち —



[第4学年] 総合学習
— 新潟市，再発見 —

4 単元の計画

	【学習活動】★資質・能力	【働き掛け】	Q
総合・社会科（1次）	<ul style="list-style-type: none"> ○ 提示されたデータをもとに，新潟市のよさについて考える。 <ul style="list-style-type: none"> ・よい環境がそろっているまちだ。 ・新潟市は住みやすいまちといえる。 ○ 調べた函館市の魅力と新潟市を比較する。★社会科② ★ツール活用能力 <ul style="list-style-type: none"> ・新潟市にも魅力があるはずだ。 ・函館とは，まち並みが違うかも。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 新潟市のよさを実感するデータ（待機児童数0，30代女性の労働力1位，一世帯当たりの人数2位，自治会加入率1位など）を提示する。 ◆ 新潟市の魅力度を表すデータ（市町村魅力度ランキング141位）を提示し，魅力度1位の函館市について調べさせる。 ※ タブレット端末を使用させる。 	18 Q 6時間
	<p>○ 新潟市と函館市の魅力度の違いは，まち並みだ。でも，新潟のまちにも，新潟ならではの魅力がきっとあるはずだ。 ★社会科①</p> <p>◎ 新潟市のまちにはどんな魅力があるのだろうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ これまでの経験を基にして学習課題を解決する方法を考える。★社会科③ <ul style="list-style-type: none"> ・実際に歩いてみれば，まち並みの魅力が分かるかもしれない。 ○ 新潟のまちの魅力について考える。★総合② ★ツール活用能力 <ul style="list-style-type: none"> ・小路の案内板がたくさんあった。案内板のイラストが魅力的だった。 ・既に小路の魅力に気付いている大人がいるんだ。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 学習課題を解決するための方法について問う。 ◆ まち歩きを行い，新潟のまちの魅力についてまとめさせる。 ※ 数多くの小路案内板があるルートを選んで，まち歩きを行う。 ※ まち歩き後，魅力を感じたことをコア・マトリクスにまとめさせる。 	

	<p>○ 小路の魅力はすごい。まちの魅力を伝えることができるんだ。私たちもやってみよう。 ★総合③</p>	<p>※ 小路案内板を作成している人へ興味をもっている子どもの発言を取り上げる。</p>	
<p>総合(二次)</p>	<p>○ 野内さんの案内でまち歩きを行い、新たな魅力を知る。 ★総合①</p> <ul style="list-style-type: none"> 野内さんは、小路以外の新潟の魅力を知っている人だ。 一人で始めたのがすごい。 <p>○ 自分たちと野内さんの動機を重ね合わせて考える。 ★総合②</p> <ul style="list-style-type: none"> 私たちは新潟の魅力度をアップさせたいと思っている。野内さんの思いも同じだろうか。 <p>◎ 野内さんはどうしてまちの魅力を伝えようと思ったのだろうか。</p> <p>○ 野内さんが取組を始めたときの思いを知る。 ★総合①</p> <ul style="list-style-type: none"> 「おもしろいものがあるなら伝えたい」という思いで始めたんだ。 伝えたら反応があって、もっとまちのことを知りたくなったのか。 <p>○ おもしろいと思うから伝えたい。私たちも伝えたい。 ★総合③</p> <p>○ 野内さんから受け継いだバトンの意味を考える。 ★総合②</p> <ul style="list-style-type: none"> 野内さんのバトンって何だろう。 まちの歴史や魅力を伝えてほしいというバトンかな。 <p>○ 野内さんからバトンを受け継いだ。野内さんのようにまちの魅力を伝えたい。 ★総合③</p> <p>○ 前回のコースを再度歩き、魅力の再認識、再発見をする。 ★総合③</p> <ul style="list-style-type: none"> 砂丘へと続く坂道を伝えたい。 やっぱり日和山は素敵な場所だな。 <p>○ もっとも伝えたい場所や風景を考える。 ★総合①② ★ツール活用能力</p> <ul style="list-style-type: none"> やっぱり野内さんの思いが詰まった日和山を案内したいな。 神社や寺を案内すると北前船の歴史について伝えることができる <p>○ まち歩きで案内したい場所や風景を考え、発表する。 ★協働性</p> <ul style="list-style-type: none"> このコースには野内さんの伝えたい思いが込められている。だから野内さんが特におもしろいと感じていると思った場所や風景を選びました。 <p>○ 私たちは野内さんからバトンを受け継いだので、このバトンを次の人に渡さなければいけません。そのために、まちを歩きながら、まちの歴史や風景などの魅力を伝えていきたいです。そうすることが、歴史や今の風景を後世に残すことになると思うからです。 ★総合③</p>	<p>◆ 小路案内板を作成した野内さんとまち歩きをする場を設定し、どのように思ったかを問う。【働き掛け1】</p> <p>※ まち歩き後、案内された場所(砂丘や神社など)についてまとめさせる。</p> <p>※ タブレット端末で情報を調べる。</p> <p>◆ 野内さんが新潟の魅力を伝え始めた動機について問う。【働き掛け2】</p> <p>※ 野内さんが取り組んできた小路案内板の作成、小路巡りマップの作成、日和山の再生について確認する。</p> <p>◆ 野内さんが取組を始めた動機について直接話を聞く場を設定、自分の思いと比較させる。【働き掛け3-①】</p> <p>※ 野内さんの話を聞いて分かったこと、共感したこと等を作文に書かせる。</p> <p>※ 学習のキーワードを記入した表(総合学習データベース)を作成する。</p> <p>◆ 野内さんが今の思い(子どもたちにバトンをつなげたい)を語ったビデオメッセージを視聴させ、その思いについて問う。【働き掛け3-②】</p> <p>※ 総合学習データベースにある言葉を頼りにして考えさせる。</p> <p>◆ 野内さんと歩いたまち歩きのコースを再度歩かせる。【働き掛け4-①】</p> <p>◆ 「みなとぴあ〜日和山」コースのどこを案内したいか問う。【働き掛け4-②】</p> <p>◆ コースを決める際、大切にしたいことは何か問う。【働き掛け4-③】</p>	<p>24 Q 8 時間</p>
<p>(三 次)</p>	<p>○ 実際に保護者を案内し、次の活動への意欲を高める。 ★総合①②</p> <p>○ 学校生活で解決したい課題を考え、実現させる方法を考える。 ★総合③</p>	<p>◆ 考えたまち歩きのコースを保護者を対象にして案内するよう提案する。</p> <p>◆ まち歩きという経験を学校生活に生かせないか問う。</p>	<p>33 Q 11 時間</p>